

十一月の法語カレンダーより

人間そのものの
目ざめを
呼びかけるものが
如来の本願である

私が子どもの頃、近所の木からミノムシがたくさんぶら下がっていました。そのミノをはぎ取ってミノムシを裸にしても、すぐに葉っぱやゴミなどを身体にくっつけてミノをつくるので、それで遊んだものでした。

でも私も、ミノムシのようななあと思います。ありのままの姿では不安なので、いつもいっぱいミノを付けています。着飾って、いろいろ身につけて、それだけではありません。他人からどう見られるか、恥ずかしくないのか、かっこ悪くないか。ひとときも本来の姿ではいられずに、ミノムシみたいです。

私たちは、人生に苦しむほど、心のミノを幾重にも重ねてしまいます。そんなときは、自分を守るミノを丁寧に一枚ずつはずして、阿弥陀さまの前で手を合わせましょう。

阿弥陀さまの前では、ミノはいりません。なぜなら、ありのままの私をそのままに、光に包み込んで「必ず救う」とはたらいてくださるからです。阿弥陀さまの本願は、私が人間そのものの姿、ありのままの姿でいられることに安心を与えてくださるからです。

11月には当山の報恩講があります。阿弥陀さまのお救いをお示しくくださった宗祖親鸞聖人に感謝し、み教えを深く味わわせていただく尊いご縁です。ぜひご家族皆さままでご参詣ください。

南无阿弥陀仏

報恩講は、体調の悪い方はご遠慮ください。各自マスクをご持参ください。

ミノムシはミノガの幼虫ですが、外来昆虫により、今では地域によれば絶滅危惧種になっているようです（涙）



11月の予定

11月23日(火) 報恩講法要 9時半、13時半 マスク着用願います

ご講師 本願寺派布教使 藤澤彰祐師

11月14日(日) 門信徒会、境内清掃 9時より



浄土真宗本願寺派 瑞光山 長泉寺

〒521-1224 東近江市林町 309 0748-42-2003
zuikouzan@gmail.com <https://zuikouchousen.com>



お仏事などのご相談は、お気軽にいつでもお声かけください。

この寺報はご家族皆さままでお読みください。お子様のご住所などにも発送いたします。お申し出ください。